

SABO NEWS LETTER

第 121 号【発行日】平成 26 年 4 月 30 日（水）【発行】（一社）全国治水砂防協会

目 次

1. 目次・行事予定 1
2. 国土交通省砂防部長よりご挨拶 2
3. 国土交通省砂防部組織概要（H26.4.1 現在） 3
4. 国土交通省砂防部配置図（H26.4.1 現在） 4

行 事 予 定

（国土交通省砂防部）

5/27 直轄砂防事務所長会議（中央合同庁舎 3 号館 10 階 共用会議室）

全国砂防主管課長会議（中央合同庁舎 3 号館 10 階 共用会議室）

（全国治水砂防協会）

5/12 監事会 砂防会館 本館特別会議室

5/14 理事会 砂防会館別館 霧島

5/27 評議員会砂防会館別館 六甲

5/27 代表参与会 砂防会館本館特別会議室

5/27 参与会 砂防会館別館 穂高

5/27 直轄事務所長連絡会 砂防会館別館 立山

5/27 賛助会員情報連絡会議 砂防会館 霧島

5/28 第 78 回通常総会 砂防会館別館 利根

ご質問、ご意見、ご感想、記事の詳細内容等、お問合せ先

一般社団法人 全国治水砂防協会

住所：〒 102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-5 砂防会館内

電話：03-3261-8386 FAX：03-3261-5449 E-mail：kyokai@sabo.or.jp

砂防に関する最新情報は砂防協会ホームページをご覧ください。

<http://www.sabo.or.jp/>

国土交通省砂防部長よりご挨拶

会員の皆様へ

新年度が始まりました。砂防部も新たな陣容で頑張っています。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

さて、今年の4月は雪解けの影響で、新潟県や山形県で比較的規模の大きい地すべりが発生しております。被災されておられる方々に心からお見舞ひ申し上げます。

昨年も941件の土砂災害が発生しました。その中でも、特に被害が大きかった伊豆大島の土砂災害では、36名もの方々が亡くなられ、未だに3名の方が行方不明のままです。大変痛ましいことです。4月で災害発生から半年を迎えました。大島町、東京都、国土交通省が連携しながら必要な対策を進めているところです。地域の皆様にすこしでも安心してもらえるように早く地域の安全度を向上させたいと思います。

この大島町で発生した土砂災害等を教訓として、既存計画の対象としていなかった現象や大量の流木に対処するためのハード対策、土砂災害から住民の生命を守るための警戒避難対策等のソフト対策の強化についての課題等を、「土砂災害対策の強化に向けた検討会」を設置し、学識経験者の意見を聞きながら検討を進めております。気候変動で雨が強くなる中、どのような対応が必要か、ハード・ソフト両面から近いうちにまとめることとしております。

また、平成23年に台風12号により甚大な被害が生じた紀伊半島において、大規模土砂災害に係る建設技術の研究及び開発を推進するため、平成26年4月より、近畿地方整備局に「大規模土砂災害対策技術センター」を設置しました。当センターにおいては、深層崩壊発生メカニズムの解明、警戒避難体制の向上、危機管理から復興までの対応技術の開発などをテーマとして、地域に密着した大規模土砂災害への対応策の検討を進め、危機管理体制も強化いたします。

その他、今年の砂防関係の重点テーマとしまして、老朽化した砂防施設の維持・管理があげられます。今後多くの砂防施設が維持更新時期を迎えようとしております。施設の長寿命化計画をまとめ、少ない予算で施設を長持ちさせる事業を実施していく必要があります。今年度から積極的に取り組んでいくこととしております。

気候変動や地震活動の活発化で、いつどこでどのような災害が起こるかわかりません。また地域にある砂防施設の老朽化なども気になる箇所があるかもしれません。気になることがございましたら、いつでもご相談くださいませ。

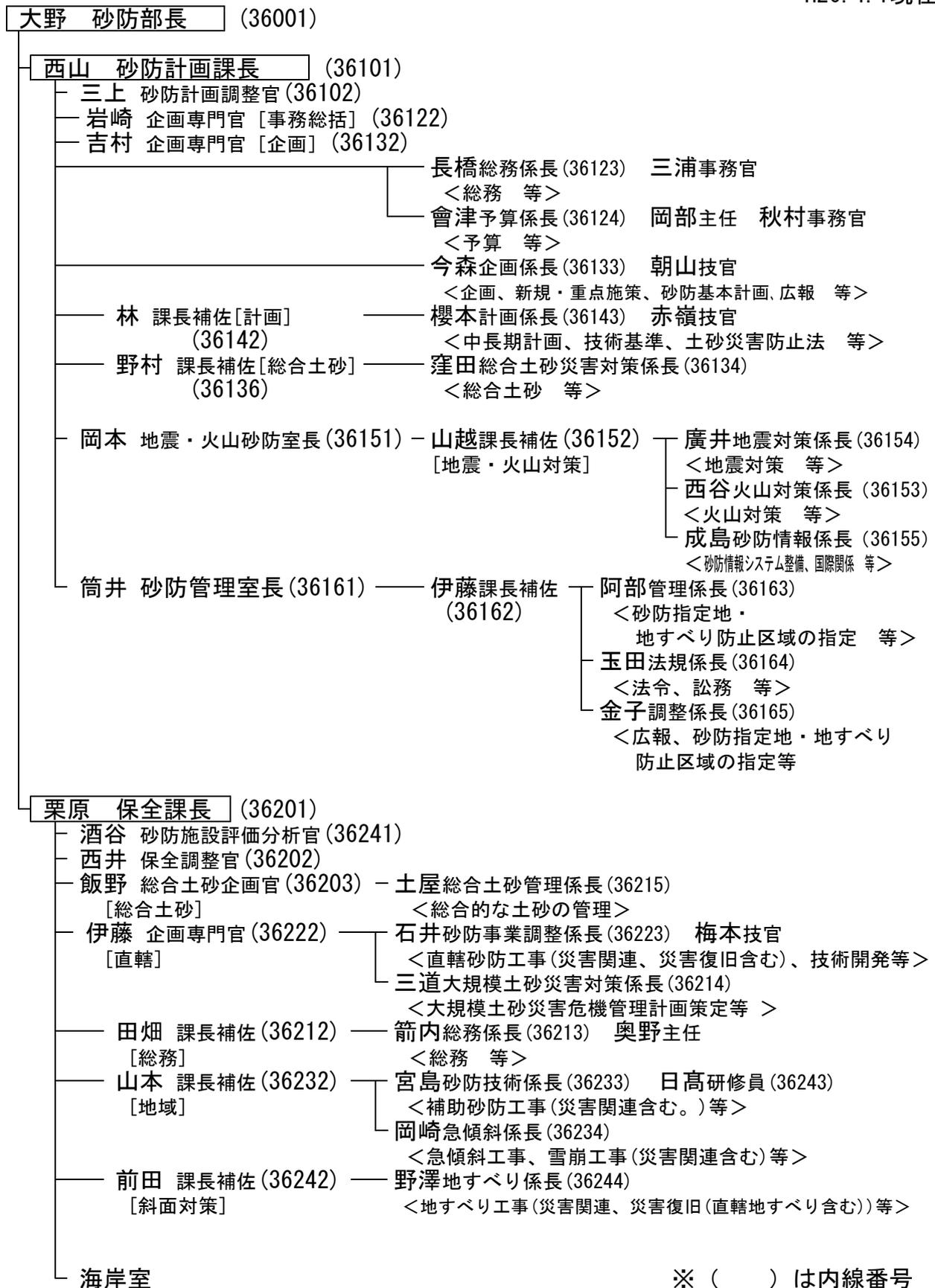
砂防部は合同庁舎3号館2階にあります。国土交通省にお越しの際は、砂防部長室にお立ち寄りくださいませ。

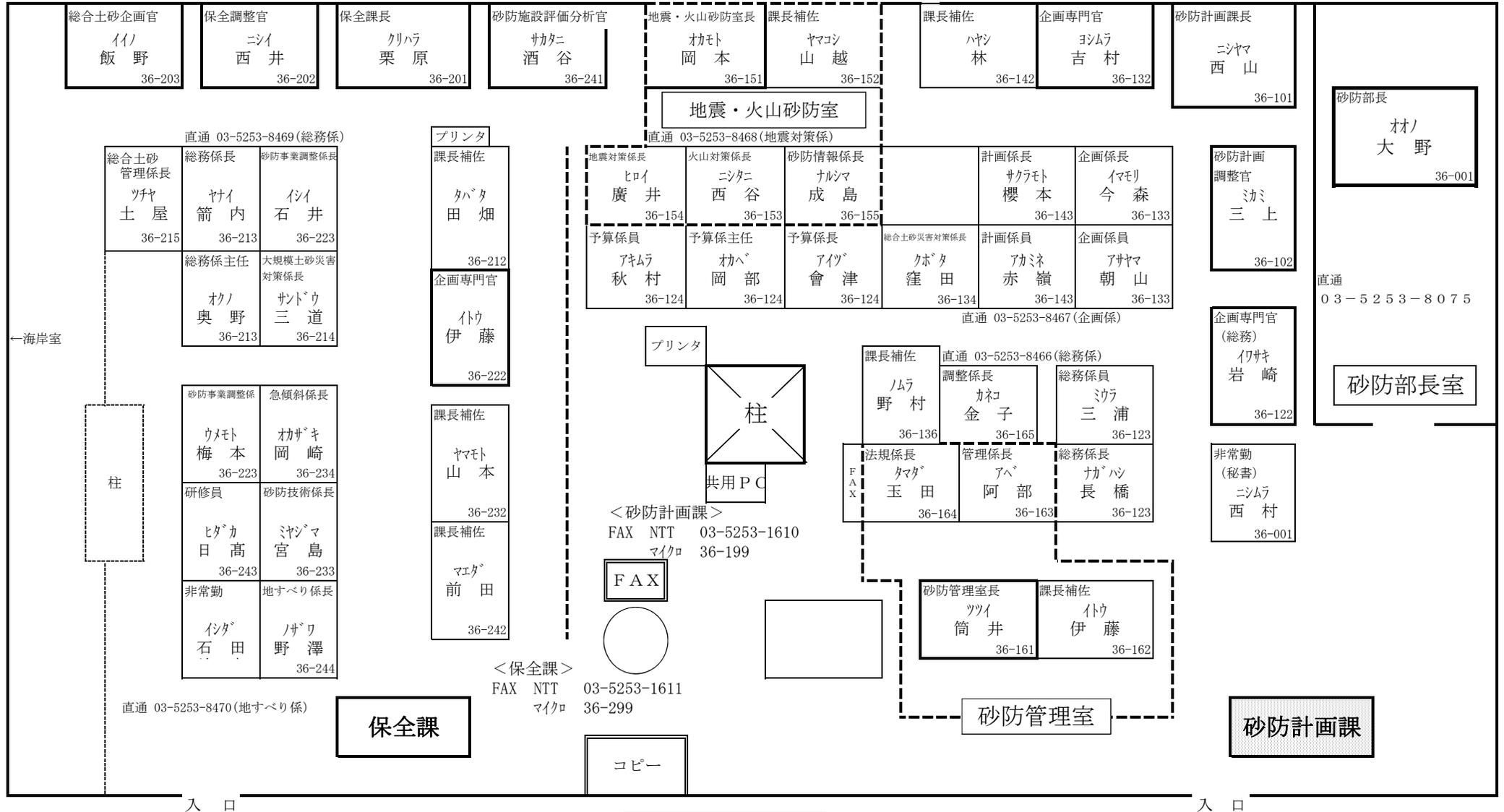
最後になりましたが、皆様方のご健勝とそれぞれの地域のますますのご発展をお祈りいたしております。

砂防部長 大野宏之

国土交通省砂防部組織概要

H26. 4. 1現在





砂防部配置図

〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関2-1-3
代表 03-5253-8111

平成26年 4月 1日現在